



宗像市

宗像の食を未来へ！ 自由ヶ丘南小5年生が地産地消弁当を販売

11月18日(火)に自由ヶ丘南小の5年生37人が、農産物直売所「ほたるの里」で、宗像産の農水産物をふんだんに使った「地産地消弁当」の販売とPRを行います。

子どもたちは、これまでの授業を通して地域の生産者や漁師から話を聞き、宗像の「食」の現状や魅力について学びました。その中で、後継者不足や気候変動、環境汚染などの一次産業が抱える課題に気づきました。この活動は福岡教育大学と連携し、開発した弁当を販売することで、宗像の食の魅力と地産地消の大切さを広く伝えることを目的としています。



《使用食材の9割が宗像産のお弁当》 《ほたるの里の方と協議する様子》

《漁師さんから話を聞く様子》

【イベント 概要】

日 時： 11 月 18 日(火) 12:40~13:50

場 所： 農産物直売所ほたるの里（宗像市須恵1-1-18）

出席者： 自由ヶ丘南小学校5年生（37人）、福岡教育大学学生（4人）

内 容： ・「むなかた地産地消弁当」、「むなかた牛カレーパン」の販売

・海洋プラスチックを使った手作りコースターの販売

・宗像の食の課題に関する情報発信

【販売品】

むなかた地産地消弁当（ひじきと大豆の炊き込みご飯、アジフライ、鶏のから揚げ、キャベツ、ブロッコリーとさつま芋のサラダ、きゅうりとわかめの酢の物、みかん）580 円（税込）、

むなかた牛カレーパン 260 円（税込）、海洋プラスチックを使った手作りコースター300 円（税込）

【背景】

本取り組みは、自由ヶ丘南小学校5年生による総合的な学習の時間「宗像の食を未来につなごうプロジェクト」の一環として実施しています。弁当開発にあたっては、地産地消の推進に加え、栄養バランスにも配慮するため、福岡教育大学の協力を得ました。

また、子どもたちは海岸清掃活動で自ら収集した海洋プラスチックを再利用し、コースターとして販売。食と環境の両面から、宗像の未来を守る大切さを学んできました。

【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください

宗像市安全安心な学校づくり課 担当：秋葉 TEL：0940-36-1322